

## 顧問あいさつ

顧問 西川 潮

こんにちは。このたびワンゲル部の顧問になりました西川潮と申します。

私自身、学生時代は北海道の大学でワンダーフォーゲル部に在籍し、夏は沢登り、冬は山スキーを楽しみました。気づいたときにはどっぷりとワンゲルの生活に染まっていました。OBになってからも部に入りびたり、高みを目指していた当時の若手OB・現役とともにネパールヒマラヤの6,000m峰2座に全員登頂を果たしました。

思えば、海外登山の計画当初は、全員、アイスクライミングはもとより、本チャン(本番)の岩のぼりの経験ありませんでした。知人から東京の社会人山岳クラブを紹介していただき、春は谷川岳や北岳で本チャンの岩のぼり、冬は八ヶ岳でアイスクライミングを学び、ともに高みを目指して頑張っていた仲間に、学んだ技術を伝達しました。ほぼ0からの出発でしたが、たくさんの方々の温かい支援のおかげで、海外登山の勉強会発足から山岳技術の積みあげまで約1年の準備期間で達成できたことは、自分たちの自信形成につながり、良き思い出になっています。

その後、私はニュージーランドで大学院生活を送ることになりました。ニュージーランドでは、急峻な氷尾根からの20時間を越えるピークアタックや、ヒドゥンクレバスだらけの恐ろしい氷河歩き、遊覧セスナの乗客を見上げる以外は一日誰とも会わない僻地の岩場での本チャン岩のぼりを経験しました。また、アメリカ・ヨセミテではビッグウォール登攀や地上1,000m超えのチロリアンブリッジを経験しました。自分にとっての山は自身と向き合う場だったと考えています。

最近、すっかり山から離れ、かつての山や岩壁での経験を、別世界での体験のように感じています。登山技術は日々進歩していますので、技術面で教えられることは少ないかもしれませんが、現役の皆さんが、安全に配慮しつつも、充実した活動を進めていけるよう支援していきたいと考えています。



## 主将あいさつ

62期 吉田 優輝

こんにちは。今期1年、伝統ある金沢大学ワンダーフォーゲル部の新部長を務めさせていただくことになりました、2年の吉田優輝と申します。山登りは大学に入ってから始めた若輩者



ですので、部員やOBの方々に苦勞をおかけしてしまうかもしれませんが、そういったことが無い様、頑張っていきたいと思っています。

まず、はじめに、今年は甚大な被害を出した台風21号をはじめとする天候不良の影響により、ほとんどの夏合宿のパーティーが山行を断念、切り上げてしまう結果となりました。満足な活動報告ができず、申し訳ありません。

さて、前部長の山本さんは、遭難対応のマニュアル作成等、安全登山の意識改革を行い部内の事故防止に取り組んでおられました。現在のワンダーフォーゲル部は、圧倒的に山岳部出身の者が少なくなっております。そのため、皆で協力し合いつつ、この活動を続けていくことで、更なる安全性の向上を目指します。

また、ワンダーフォーゲル部のウェブページ作成の仕事も兼任することになったので、現在のワンゲルの活動を、OBの方々や未来の部員たちにも楽しんで見てもらえるようなサイトを作っていくよう、頑張っています。最後までお読みいただき、ありがとうございました。